

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 17

ローマ人への手紙において (1)

ダビデの子孫が神の御子またわたしたちの命の救い主となる

聖書：ローマ 1:3-4, 5:10, 8:28-29

I. ダビデの子孫が神の御子になることは、キリストが復活によって神の長子と明示されること、またわたしたちが復活によって神の多くの子たちと明示されることを語っています——ローマ 1:3-4, 8:28-29 :

A. キリスト、神性における神のひとり子は、肉体と成ることによって (ヨハネ 1:18)、神性とは何の関係もない肉体、すなわち人性を着ました。人性において、彼は神の御子ではありませんでした :

1. 人性におけるイエスはダビデの子孫、神の旧創造 (古い人——ローマ 6:6) に属する人の子孫でした——コロサイ 1:15 後半。
2. キリストは人性におけるダビデの子孫として十字架上で死んだとき、古い人と旧創造を十字架につけ、悪魔を滅ぼし、肉において罪を罪定めし、この世を裁きました——ローマ 6:6, ヘブル 2:14, ローマ 8:3, II コリント 5:21, ヨハネ 3:14, 12:31。

B. 復活においてキリストの人性が神化され、息子化されたことは、彼が彼の神性においてだけでなく、彼の人性において神の御子となったことを意味します——ローマ 1:3-4 :

1. 彼は復活において神の御子と明示され、神の長子とされ、神性と人性の両方を所有しました—— 8:29。
2. 十字架は彼が明示され、彼の栄光が現され、彼が復活させられる最上の道でした :
 - a. 種は土壌に葬られることによって死ぬなら、最終的に芽を出し、生長し、花を咲かせます。なぜなら、種の命の活動は、その死と共に同時に起こるからです——ヨハネ 12:23-24。
 - b. キリストにある神性、聖別の霊は、彼の死において活動的になり、復活において神の御子として「花が咲き」ました。
 - c. 彼は肉によれば十字架につけられましたが、彼の霊によれば彼は強く、とても活動的にされて、神性をキリストの人性の中へと入れ、それを神聖にしました。これが明示することの意味するものであり、これが息子化することです—— I ペテロ 3:18。

C. キリストの人性は聖別の霊、キリストの神性によって、神性の中へと明示され、引き上げられ、しるしづけられました——使徒 13:33 :

1. キリストは復活の中で再生された最初の方です——ローマ 8:29 :
 - a. 彼の人性は彼の母の胎の中で生まれました。それは人に属するものであり、神の御子とは考えられ得ず、人の子でした。
 - b. キリストの復活は彼の人性を引き上げ、彼の神性をこの人性の中へと入れまし

た。ですから、この復活によって、彼の人性は再び生まれて、神の御子の一部分となりました。

2. 原型は神の長子であり、複製は神の多くの子たち、原型の肢体たちであり、彼のからだとなって、新エルサレムにおいて究極的に完成します—— I ペテロ 1:3。
- D. キリストはすでに神の御子と明示されましたが、わたしたちはまだ明示の過程、息子化され、明示される過程にいます——ローマ 8:28-30. ヘブル 2:10-11。
- E. ローマ人への手紙における福音の目標は、神が肉にある罪人を、霊の中にある明示された神の子たちへと造り変え、キリストのからだを建造しつつあることです。
- F. 神の御子の命はわたしたちの霊の中へと植えられました—— 8:10 :
1. 今やわたしたちは、地の中にまかれている種のように、死と復活の過程を経過しなければなりません——ヨハネ 12:24-26。
 2. これは外なる人が朽ちるようになりますが、内なる人が成長し、発展し、究極的に花咲くことができるようになります。これが復活です—— I コリント 15:31, 36. II コリント 4:10-12, 16。
 3. わたしたちは命における造り変えのために命の中で成長すればするほど、ますます神の子たちと明示されます：
 - a. わたしたちは成長するために、霊の中で貧しくなり、心が主に向けられ、心が彼に対して純粹になる必要があります——マタイ 5:3, 8. II コリント 3:16, 18. II テモテ 2:22。
 - b. わたしたちは成長するために、悪巧みのない言葉の乳と堅い食物で養われる必要があります—— I ペテロ 2:2. ヘブル 5:12-14。
 - c. わたしたちは成長するために、賜物のある肢体たちの水注ぎを必要とします—— I コリント 3:6 後半. ヨハネ 7:37-39. 箴 11:25。
 - d. わたしたちの環境におけるすべての事柄を通し、わたしたちの失敗によって、わたしたちの醜い自己は打ち壊され、主はさらに大きな機会を持ってわたしたちの内側で働きます——ローマ 8:28-29。
 - e. ある日この過程は完了し、永遠においてわたしたちは、霊、魂、体においてキリスト、神の長子と同じになります—— I ヨハネ 3:2. ローマ 8:19, 23. 詩歌, 764 番, 2 節。
- G. 復活において、人性におけるキリストは神の御子と明示され、そのような復活によって、わたしたちも神の子たちと明示される過程にいます——ローマ 8:11. 6:5 :
1. わたしたちが明示され、息子化され、神化される過程は、復活の過程であり、これらの主要な面、すなわち聖別、更新、造り変え、同形化、栄光化を伴っています—— 22 節. 12:2. 8:29-30。
 2. 明示の過程に対するかぎは復活であり、それは起き上がらせる霊、明示する霊、わたしたちの霊の中の命の力としての、内住のキリストです——ヨハネ 11:25. ローマ 8:6, 10-11. 使徒 2:24. I コリント 15:26. 5:4。
 3. わたしたちはどのように霊にしたがって歩き、明示する霊を享受し経験するかを、学ぶ緊急の必要があります——ローマ 8:4, 14. 10:12。
- H. クリスチャン生活全体の重要な点は、すべてを含む、命を与え、明示する霊として

のキリストがわたしたちの霊の中に生き、その霊として彼がご自身をわたしたちとミングリングして、この二つ霊を一にすることです—— I コリント 15:45 後半. ローマ 8:16. I コリント 6:17 :

1. わたしたちのミングリングされた霊の中には問題がないので、解決の必要はありません。わたしたちが必要とするものはすべて、わたしたちの霊の中にあります——ピリピ 1:19. 4:23. 参照、ローマ 15:13. 詩 3:3。
2. わたしたちは自分の弱さ、欠点、失敗、自己のすべてについて忘れ、思いを霊に付ける必要があります。すなわち、常にわたしたちの霊に注意を払い、霊を用い、霊を顧みることによって、霊の中にとどまる必要があります——ローマ 8:6。
3. たとえわたしたちの周囲と環境が悲惨であっても、わたしたち自身は霊の中で喜び、神の王国の実際の中に生きなければなりません—— 14:17. 参照、ダニエル 3:19-20, 25. 使徒 16:23-25. エペソ 4:1。
4. わたしたちは霊の中で燃えて喜んでいるとき、神を享受し、命の中で王として支配し、命の新しさの中を歩き、霊の新しさの中で仕えます——ローマ 5:10-11, 17. 6:4. 7:6。
5. わたしたちは霊に戻り、霊の中にとどまり、霊にしたがって歩き生きるとき、真の神の子たち、またキリストの生ける肢体であり、有機的に互いに関係があり、生けるからだとして建造されて、召会生活の中で実際としてのキリストを表現し、新エルサレムを究極的に完成します。

II. キリストはわたしたちの命の救い主、命の霊、また神の御子の霊としてのご自身によって、彼の命の中でわたしたちを救う方です—— 5:10. 8:2. I コリント 15:45 後半 :

A. ローマ人への手紙は、命の霊がわたしたちの内側で四重の働きを行なっていることを啓示します :

1. 命の霊は自由にする霊です :
 - a. わたしたちは命の霊の中を歩くとき、罪と死の法則から解放されます——ローマ 8:2。
 - b. わたしたちを自由にするのは知識ではなく、命の霊ご自身です。ですから、わたしたちは自由にする霊の中へと自分自身を祈り込み、わたしたちの霊とミングリングされているこの霊の中で生き、行動し、存在する必要があります—— 4 節。
2. 命の霊は解放する霊です :
 - a. わたしたちは縛られているので、自由を必要としますが、墮落しているので、解放を必要とします。
 - b. わたしたちが命の霊の中にいるなら、自分の態度、動機、考え、愛すること、憎むこと、決定、短気、性情、その他の多くの項目からの解放を必要とするという深い罪の自覚を持ちます—— 5:10。
3. 命の霊は聖別する霊です :
 - a. 聖別されるとは、造り変えを通して、神であるすべてで浸透されることです—— 6:19, 22. 12:2。
 - b. 聖別はローマ第 12 章 2 節の造り変えと等しく、それは、「思いが新しくされる

ことによって造り変えられなさい」と言います。

4. 命の霊は栄光化する霊です：

- a. 最終的に、命の霊はわたしたちを栄光化して、わたしたちの三部分から成る全存在において、三一の神の完全な団体の表現となります—— 8:30。
- b. 彼は彼の神聖な聖別によって多くの子たちを栄光へ導き入れ、わたしたちを彼の栄光の召会としつつあります——ヘブル 2:10-11. エペソ 5:26-27。

B. ローマ人への手紙は、わたしたちの子たる身分のために神の御子の霊が、わたしたちの内側で五重の働きを遂行していることを啓示します——ガラテヤ 4:6：

1. 神の御子の霊は証しする霊であり、わたしたちの霊と共に、わたしたちが神の子供たちであることを証しします——ローマ 8:15-16。
2. 神の御子の霊は導く霊です。わたしたちはこの導きの下にいるなら、わたしたちが神の子たちであることを証明する方法で歩き、振る舞います—— 14 節。
3. 神の御子の霊はとりなす霊です。わたしたちの内側にある方がいて、常にわたしたちのために、また他の人のために祈っています—— 26-27 節。
4. 神の御子の霊は同形化する霊であり、わたしたちを神の長子としてのキリストのかたちに同形化する働きを行なっています—— 29 節。
5. 神の御子の霊は建造する霊です：
 - a. 神のすべての子たちはキリストの肢体であり、このすべての肢体はその霊によって共に建造され、組み合わせられます—— 12:4-5. エペソ 4:3-4。
 - b. からだの中で互いに肢体であることと有機的な関係は、正常な召会生活のためであり、命の霊と、わたしたちの子たる身分のための、神の御子の霊の究極の働きです。